

2007年 7月 10日

自動体外式除細動器（AED）を全現場作業所に設置
仮囲いに表示し周辺地域の緊急時にも対応

長谷工コーポレーション（本社：東京都港区、社長：岩尾 崇）は、このたび、自動体外式除細動器（AED）を全現場作業所に設置いたします。

最近ではAEDを駅や学校、企業などに設置されるケースが増えていますが、一般家庭にはまだ普及していないのが現状です。

誰にでも起こる可能性のある心臓突然死の多くは、心臓のけいれん（心室細動）が原因で、この心室細動を起こした心臓を元通りにする唯一の方法が、電気ショックによる除細動です。発症から1分経過する毎に、救命率は7～10%低下すると言われており、1分1秒でも早く対応する必要があります。

そのためにはAEDの設置箇所および使えるを増やすことが望まれており、当社の事業エリアである首都圏・近畿圏・中部圏の全現場作業所に2007年6月下旬より順次、AEDを導入することといたしました。使用方法等については作業所所長や所員等が講習を受け、対応できる体制を整えます。

また、AEDを設置した後、作業所ゲート付近の工事看板下等に「AED設置」の表示を行います。当社現場作業所内だけでなく、万が一、作業所周辺で緊急対応が必要になった場合は、一般の人にも使用していただけます。

【設置場所】

- 首都圏、近畿圏、中部圏の全現場作業所

【設置期間】

- 着工から引渡しまで

【設置表示】

- 作業所のゲート付近仮囲い、工事看板下等に表示

【AED】



【設置表示例】

